

令和 8 年洞爺湖町教育委員会第 3 回臨時会会議録

日 時	令和 8 年 5 月 2 0 日（水） 1 3 : 3 0 より
場 所	役場第 2 委員会室
出 席 委 員	教 育 長 渋 川 賢 一 委 員 岡 本 里 佳 委 員 岩 崎 義 久 委 員 加賀谷 真由美 委 員 越 後 進 一
欠 席 委 員	無し
説 明 員	教育推進課 仙 波 貴 樹 社会教育課長 角 田 隆 志
会 議 録 調 整 者	教育推進課課長補佐 春 名 宣 寛
傍 聴 者	無し
日 程 第 1 【開会宣言】	渋川教育長 開会を宣言する。（1 3 : 3 0）
日 程 第 2 【前回会議録の承認】	渋川教育長 各委員の署名により、承認を確認。
日 程 第 3 【教育長諸般の報告】	渋川教育長 3 / 2 7 退職辞令交付（教育長室） 胆振教育研究所会計監査（教育長室） 育英資金運営委員会（3 0 1 会議室） 3 / 3 1 辞令交付（防災研修ホール） 4 / 1 辞令交付（教育長室、防災研修ホール） 4 / 2 教職員辞令交付式（防災研修ホール） 4 / 6 胆振教育研究所理事会（むろらん広域センタービル） 管内教育長会議、管内教育長協議会（むろらん広域センタービル） 4 / 8 交通安全街頭啓発（町内交差点） 洞爺湖温泉小学校入学式（洞爺湖温泉小学校体育館） 虻田高校入学式（虻田高校体育館） 4 / 1 4 定例校長会議（第 2 委員会室）

日 程 第 6
【 議 決 事 項 】
・ 議案第 1 5 号

ては、岡本里佳委員を教育長職務代理として指名いたします。

岡本委員どうぞよろしく願いいたします。

岡本委員

よろしく願いいたします。

渋川教育長

確定したので、一言ご挨拶いただいてもよろしいですか。

岡本委員

はい。ただいま教育長の職務代理に指名されました岡本里佳と申します。微力ではありますが、岩崎教育委員、また新しく変わってくださった加賀谷教育委員、越後教育委員、そして、事務局の皆様のお力添えをいただきながら、責務を全うしていきたいと思います。

また、渋川教育長何よりも元気で、日々教育行政を引っ張って行ってくださいますようよろしくお願いいたします。1年間よろしくお願いいたします。

渋川教育長

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは続きまして、日程第6、議決事項。

議案第15号令和8年度教育行政執行方針について事務局より説明をお願いいたします。

仙波教育推進課長

それでは議案書6ページをお開きください。議案第16号令和8年度教育行政執行方針についてご説明申し上げます。

こちらは令和8年度の教育行政執行方針を別紙の通りとすることについて議決を求めるものでございます。事前にお配りしておりますので、概要のみの説明とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

本方針につきましては、少子高齢化や高度情報化など社会が急速に変化する中におきまして、子供たちが持続可能な社会の作り手としての力を身につけ町民の皆様が生涯を通じて豊かに学び続けられる環境を推進するためのものでございます。

本年度も、洞爺湖町教育目標と教育ビジョンの7つの基本目標に沿いまして、主要な施策を展開してまいります。以下、その概要についてご説明申し上げます。

2ページをお開きください。第1は、SDGs EDSの推進であります。本町の豊かな自然や文化的資源を最大限に活用し、多様性を尊重し、ともに支え合う社会の構築に向けた学びを深め、持続可能な地域社会の担い手を育成してまいります。

第2は、子育てをしやすい環境整備の推進であります。中学校入学時の制服等購入費購入費用や高校生の通学費等の一部助成、就学援助事業等によりまして、経済的負担を軽減し、全ての子どもたちが安心して学びに専念できる機会を保障します。また、幼稚園、保育所、小学校の連携を強化し、円滑な接続を目指します。

次に3ページでございます。第3は、社会で活躍できる実践的な力の育成であります。外国語教育におきましては、国際社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目指し、外国語指導助手ALTを2名体制へと拡充いたします。また、本年度より通級指導教室を新たに開設し、特別支援教育の更なる充実を図ります。ICT活用では1人1台端末とAIドリルを効果的に連携させ、個別最適な学びを深化させるとともに家庭学習の習慣化を促します。地域一体となった支援といたしましては、虻田高等学校の特色化魅力化、入学者確保に向けた取り組みを全面的にバックアップしてまいります。

4ページでございます。第4は豊かな心と健やかな身体の育成であります。学校教育全体を通じて行う道徳教育はもとより全ての教育活動を通じて豊かな道徳性や人権意識の浸透を図ります。例年実施しております洞爺湖子供芸術フェスティバルにおいて、本物の体験の機会を継続提供する他、いじめ問題に対しては、ハイパーUQ検査を全学年で継続し、早期発見早期対応に努めます。不登校対策については、子供サポート室を中心に、専門人材を活用した多面的な支援を推進いたします。学校給食は地産地消を進めるとともに、国の交付金等を活用して保護者の負担軽減を図ってまいります。

6ページになります。第5は信頼される学校づくりの推進であります。運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりを進め、学校評価の適正な実施と公表を徹底いたします。令和10年4月導入予定の小中一貫教育に向けては、洞爺湖町教育教育研究所を拠点に、外国語教育を柱とした独自の新教科開設に向けた専門的な調査研究に取り組みます。また、教職員の勤務環境改善のため業務量管理健康確保措置実施計画に基づき、出退勤管理システム等の活用により業務改善を進めるとともに、部活動の地域展開を段階的に導入してまいります。

7ページ目下段になります。第6は、地域全体で子供たちを守り育てる体制づくりの推進であります。時代や社会構造の変化に伴う地域の教育力低下などの現状を改善するため家庭と地域の結びつきを深め、地域全体で子供を守り育てる機運の醸成に努めてまいります。生活リズムの向上を目的とした、早寝早起き朝ご飯運動の啓発や、7ヶ月健診時のブックスタート事業を実施する他、家庭教育に関する情報提供や親同士の仲間作りの機会を提供します。また通学路の安全確保につきましては、洞爺湖町通学路等安全推進会議における内容検討を踏まえ、地域の方々や関係機関と協力しながら、児童生徒の安全確保に努めるとともに、防犯協会などの協力をいただきながら、危険を予測回避する意識を高める交通安全教室などを推進し、社会全体で子供を守るため、見守る体制づくりを進めます。

8ページになります。第7は、生涯学習社会の推進であります。第4次洞爺湖町社会教育中期計画に基づき、町民一人ひとりが自ら進んで学習できる環境づくりに努めます。少年の学びについては、洞爺湖GENKIDS事業における自然社会体験学習のほか、友好都市である香川県三豊市とのふるさと・ふれあいフレンドリーツアー事業における相互訪問交流の充実を図ります。また、放課後の地域未来塾事業でのデジタル教材の活用、中学3年生を対象とした進学対策として

の ICT 遠隔教育事業事業などを学校、地域と連携して推進します。さらに、成人の学びや生き生き学園を中心とした、高齢者の学びを支援するほか、第2次男女共同参画計画の策定や学校支援ボランティアによる地域学校協働活動の促進を図ります。潤いのある地域作りを目指した文化文化遺産の保全活用については、世界文化遺産に登録された北海道北東北の縄文遺跡群が登録5周年を迎えることから、構成資産を有する自治体と連携した記念事業を実施し、入江高砂貝塚を中心に、縄文文化の価値を広く町内外に周知する取り組みを進めます。指定文化財については、適切な保存と活用を図るとともに町内3地区の獅子舞保存会の活動を支援してまいります。

スポーツ活動の推進や社会教育、体育施設の適切な維持管理にも継続して努めてまいります。

以上が、令和8年度教育行政執行方針の概要となります。

以上、ご提案申し上げますご審議のほど、よろしくお願いいたします。

渋川教育長

ただいま事務局の方から概略について説明をさせていただきましたけれども、質疑ありましたらお受けしたいとございますが、ございますでしょうか？

岡本委員

基本的には昨年度に基づいて、大体、少し新しく付け加えている内容もあるんですけども、どこに当てはまるかわからないんですが、昨年度熟議の中で、15歳の目指す姿というスローガンを掲げて、皆さんで作り上げたものがありますので、最後のところでもいいですし、小中一貫のところにあるのでしょうか、洞爺湖町（ふるさと）を愛し、夢に向かって世界と繋がり、挑戦し続ける15歳（こども）っていう、本当にこれは、洞爺湖町の教育をと思うときに、すごくいいスローガンだなと思うので、どこかに加えていただけないでしょうか。

渋川教育長

そこは何とか加えさせていただきたいと思います。

岡本委員

お願いいたします。

渋川教育長

その他いかがでしょうか？

加賀谷委員

6ページが一番下の行なんですけれども、新教科の開設に向けた専門的な調査研究ということで、この新教科というのは具体的にどういうものなのでしょうか。

渋川教育長

想定してるのが、通常小学校の中では、3年生4年生が外国語活動、それから5年生以上中学生までが外国語ということで、英語を主にやっておりますけれども、どちらかというと4技能と言われる、話す・聞く・書く・読むというそういったところを中心に、英語の力を伸ばしていこうというものなんですけども、洞爺湖町で今考えているのは、話す・聞くといういわゆるオーラルコミュニケー

ションに特化した新教科を作成していこうと。要するに話す・聞くに特化しようということです。

そういった教科を、これまでの英語とは別に作っていく形で、例えば小学校1、2年生であれば、難しいことはできないと思いますので、遊びの中で体を動かしながら英語をちょっと使ってみようとか、歌って踊ってみようとか、そのようなところから少しずつ学年を上げることで、学習指導要領の同程度の話す・聞くの力をますます高めましょう、ということを中心にやっていこうと考えています。もちろん、オーラルのコミュニケーションですので、様々な人との関わりといったようなところで、積極的に他の人と関わったり、外国人の方と関われるといったようなところを目指して、新しい教科を作っていきたいと思っていますところ。

加賀谷委員

新しい教科の時数とかはどういう形になるのでしょうか。

渋川教育長

そこについては、洞爺湖町教育研究所の方で検討をいただいているところです。実際に先行して取り組んでいる管内の厚真町では、新しい教科を作ってやっていたり、お隣の後志の方の寿都町などでも同じような取り組みをしたりしているということで、それらのデータも全てお渡ししていますので、そういったものを参考にしながら、うちの町ではどういう形でできるかというところで、無理のない形で進めていって、最初から、例えば中学校3年生もいきなり進めるということは、今まで何の積み重ねもないまま入ってくるのは無理ですので、今の予定としては、小学校1、2年生から始めて、その状況を見ながら、少しずつ学年進行あたりですね、授業の時数を考えながら積み上げていきたいと考えているところです。

このようなことから、今は時数までは決まってないといったところです。その他いかがでしょうか？

越後委員

勉強とか云々っていうのはもちろん大事だと思うんですけど、体力作りをもっと強化するようなことを考えた方がいいんじゃないかなって最近思うんです。特にコロナからうちの子もそうなんですけど、外に遊びに行かなくなってしまった。

iPadとかゲームなどありますので、自宅にいながら友達とも会話ができる。ゲームして体を動かさなくなってしまった。私も天気いいときは外に遊びに行くように言ってるのですが中々いかない。

学校の遊具は昔から比べるとどんどんどんどん縮小して、熱中症の心配もあるせいか、マラソンもないようなので、体力が年齢の低い子どもがより落ちている気がします。このようなことから、体力づくりに関することも含めた方がいいのではないかと思います。

渋川教育長

今の体力の維持向上という辺りのところを加えさせていただこうと思いま

す。その他いかがでしょうか。

岩崎委員

ALT は今、メリッサですか。

渋川教育長

はい、そうです。

岩崎委員

もう 1 人はもう決まっているのでしょうか。

渋川教育長

8 月から来る予定です。

仙波教育推進課長

今、候補者 1 人上がっています。次回も女性で 20 代前半です。

岩崎委員

どこの国からですか。

仙波教育推進課長

アメリカです。

渋川教育長

それぞれの地区に住んでもらい、私の理想としては常に学校にいて、朝から晩までいるといった形の方が、子どもたちにとってはすごくいい環境になるんじゃないかなと思ってます。いろいろな事情を抱えてらっしゃる方もいらっしゃるがあるので、すぐそのようになるかどうかわかりませんが、そういった形なるべく努力していきたいなと思っております。

あわせて、今の洞爺地区に来られてる英国青年、彼女たちも全校に入っているみたいですので、そういった形の活用の方法を考えていますので、少しずつ検討していきたいなと思っております。

岩崎委員

ハイパーQU 検査って、具体的にどのようなアンケートでしょうか。

渋川教育長

ハイパーQU 検査というのは、英語で「QU」と書いてるんですけど、実は漢字でよく書いたりするのですけれども、学級の「級」に友達の「友」で級友とするときもあります。その学級の中での集団位置というのが見えてきます。要するに、その学級の集団に自分はすごく馴染んでいるのか、好きなのかだとか。

どちらかというと、あまりこの学級に馴染んでいないだとか、少し排他的に扱われてるだとか、そういったような傾向が、いろいろな質問項目がたくさんある中からそれを分類していくと、4つの象限にわかれるのですが、その中にその子がどこにいるのかっていうことで、その子の傾向が見えてきます。それによって、その先生方がそれらの資料を材料にして、このこういう傾向が自分の中では持ってるみたいだとか、どういった手立てを加えていったらいいだとか、この子とこの子と合わせたらどうなんだろうなとか。そういったようなことに役立つ検査です。

私も現場にいるときにはこれはすごく活用させていただいて、やはり学級作

日 程 第 7 【 そ の 他 】 日 程 第 8 【 閉 会 】	りを行うときには、こういったものがあると非常に有効に活用できるなというふうに思ってますし、小さな学校であればあるほど、学校全体の子供たちの様子が見えてくるので、とても有効な手立てかなと思っております。 岩崎委員 あくまで本人にフィードバックするわけではなくて、学校の先生の材料として活用するのですか。 渋川教育長 本人にも返す部分もちろんあります。ただ、中身の濃いところまでは返せないです。 加賀谷委員 保護者に結果を渡す紙も来るので、それは渡ると思います。学習意欲がどうかとか、不登校傾向の子見つけたりとか、いじめられたりしてるんじゃないかということを見発するのに、すごく有効なんですよ。 渋川教育長 他いかがでしょうか？よろしいですか。それでは先ほどいただいたご意見につきましては、後ほど修正させていただき、修文したものを最終的に、それぞれ委員の皆様にお届けさせていただくということにさせていただければと思います。 それでは提案通り承認することとしてよろしいでしょうか？ 《異議なしの声》 異議なしと認めます。 それでは議案第16号令和8年度教育行政執行方針につきましては、原案の通り可決されました。 ありがとうございます。 日程第7、その他になりますけれども、委員の皆様から何か議題となるようなものがございますでしょうか？ 《なしの声》 それでは洞爺湖町教育委員会令和8年第3回臨時会はこれで終了させていただきます。大変どうもありがとうございました。 13：50 閉会
---	--